

平成24年度 斜里福祉会事業報告

1. 運営概要

(1) 法人運営

- 大津波災害、関連した福島原発事故という、未曾有の大災害の発生は、多大な被災者の発生や国際的にも大きな影響を与えました。更に、福島第一原子力発電所の事故は、平穏な家庭や地域コミュニティを破壊し、命とは、安全とは、人とのつながりとは、経済の発展とは、という大きな命題を私たちに突きつける結果となりました。

被災地は、2年目を迎えましたが、復興には課題も多く目に見えるものとなっていない状況となっています。

- この様な環境を踏まえると、国民にとっては、不安のぬぐえない社会環境であろうと推察され、障害者福祉、高齢者福祉、子育て支援、生活困窮対策等の社会のセイフティーネットに対する期待や重要性が強くと求められているところです。
- 当法人としても、微力ではありますが、地域における福祉サービス提供の一翼を求められており、公益性や地域貢献を意識した運営が期待されていると感じているところです。
- さて、平成24年度の法人運営は、高齢者福祉分野では、下期において職員不足に起因する短期入所者の受入調整、関連する入所利用率の低下等の発生により、事業活動収支の経常収支差額において、対前年比では△7,803千円の減額となりました。

障害福祉分野においても、利用率の低下等から支援費等の減、職員採用等に係る人件費の増加等により、同様に対前年比では△15,500千円の減額となりましたが、何れにおいても次期繰越活動収支差額においては黒字を確保し、経営的にはほぼ順調に推移をいたしました

- 雇用面においては、職員の増員を計画し、キャリアパスの整備など雇用環境の改善も図りながら対応してまいりましたが、求職者がいながらも雇用に繋がらず、計画職員数を確保できず経営にも直接的な影響が生ずる結果となりました。
- 人事制度関係では、給与制度を中心とした制度改正を平成24年4月1日から実施し、人事管理の適正化・効率化に向けた環境整備を行いました。
- また、平成24年度の最大の課題であった特別養護老人ホームの定員増については、行政の強い要請もあり取り組みの可能性について検討してまいりましたが、判断の大きな要素となった職員の確保問題について、行政も共同の責任において対応するという約束が得られたことから、9月28日の評議員会等で地域密着型特別養護老人ホーム等の整備を行うことを決定し、所謂「基本合意書」にも盛り込んだ上で取り組むこととしたところです。この決定を踏まえ、現在基本設計等の業務に着手しているところです。
- 以上の様な、職員体制や経営環境の中で平成24年度の事業運営を進めてまいりましたが、役職員及び関係機関等のご理解やご協力を得て、事業計画の推進や各事業の運営については所期の目的をほぼ達成することができました。

(2) 各施設等の事業運営状況について

1) 障害者福祉分野

日の出学園においては、利用者個々への直接支援の面で、身体機能の低下や高齢化に伴い介護、看護の支援が顕著になってきています。

この事を受け、職員の介護技術及び看護知識の習得になお一層の努力が必要との認識に立ち、園内職員研修の一環として、「嚥下機能低下者の支援について」と題して、講師を招き支援能力の向上に努めました。

多機能型ワークセンター青葉における就労継続支援事業では、斜里町の委託事業である配食サービスが計画食数を上回る結果となり、木工作品についても積極的に各イベントに参加しその販売実績は増額となりました。施設外就労についても、各事業所とも連携を深める中で順調に取り組むことができました。

生活介護事業については、創作活動・趣味的活動・健康管理等を中心とし個々の特性に沿った支援に取り組みました。又生産的活動では従来のビーズユースター作りに加え、斜里青年会議所が作成した斜里の応援キャラクター「シャリッとさん」をモチーフにした缶バッジづくりも軌道にのりつつあります。

共同住居事業所ブーケ事業については、利用者の個性を尊重しながら、地域における生活能力の向上などに留意し支援を継続してまいりました。

また、主な施設整備として、日の出学園においては、ひまわり棟を床暖房に改修、工芸棟をプライバシーに配慮したトイレ周りや創作活動室の設置などへの改修、又園舎では、緊急時に備え、暖房関係非常電源切替え工事を実施し、この結果停電時もボイラー作動が可能となり暖房の確保が可能となりました。

ワークセンター青葉においては、利用者の利便を図るため駐車場の拡張及び舗装工事、CHみずならにはは階段のてすりの設置等を実施いたしました。

日の出学園の配管等更新工事については、工事内容等の再検討を要することなどの事情から平成25年度実施へと繰り延べをいたしました。

職員の人事関係では、支援課職員に6名の退職者がでたため、利用者の支援に支障のないよう勤務体制の変更などにより対策を図ってまいりました。

利用者支援の充実や職員が働きやすい環境を形成するためには、人材の確保という大きな課題を残す結果となりましたが、総体的には、障害福祉分野の各事業や環境改善を含め、ほぼ計画に沿った運営を行うことができました。

2) 高齢者福祉分野

まず、昨年3月の指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）および指定居宅サービス（老人短期入所事業）としての事業所指定の更新に続き、この3月には指定地域密着型サービス事業所（ケアハウス）の指定更新（指定の有効期間は6カ年）を済ませました。

高齢者福祉事業部門のこの一年は、利用状況（利用率）の改善を推し進めた前半期と、職員の退職や長期休暇によって一部業務の遂行に影響が及んだ後半期であったと言えます。主な取り組み等について以下の9点にまとめます。

①平成23年度に「虐待事例を放置したのではないかとの調査を受けた」教訓とその改善計画に基づき、日々起こる事例に対する検証実施に力を注いできました。『記録をする・検証をする・対策を立てる』努力をしていますが、原因究明に至らないケースもあり一層の取組み強化が必要な状況にあります。

②職員の意識改革にむけ「笑顔で挨拶」に取り組んできました。改善が図られたとは評しがたく、職員全体に浸透させるべく取組みを継続させます。

③日常生活における「体を動かす場面づくり」に取組み、ユニット毎に日々軽い

体操の時間を設定するに至っています。皆で唄を歌う、ゲームを楽しむ、ユニットの外に出る等々へ発展させる試みも始めています。

- ④年度の後半には看護師の配置が充実したこともあり、機能訓練の実施へ向け具体的な準備を進めることができ、平成25年度当初からの実践を開始しました。
- ⑤平成24年度当初に3例あった常時の身体拘束のうち2件について終了させることができました。この件は、外部からの改善指導があったからにせよ、各部署が気持ちをひとつにして試みた成果でありました。
- ⑥介護技術の向上のため受講した研修において、その移り変わりの大きさに愕然とするということがありました。平成25年度に施設を挙げて技術（とりわけ移乗技術）習得に取り組むたいと考えます。
- ⑦平成24年度より実施の本格的な職務職階（役職）体制については、十分に機能したとは言えず、とりわけ役職にある職員のスキルアップが求められています。その先に「部署」ではなく「やすらぎの苑」としての組織力向上が求められていると言えます。
- ⑧職員不足に関しては、その深刻さを増しています。年度後半は一部業務に支障をきたし、多くの皆様にご迷惑をお掛けする事態となりました。一日も早く所定業務の全面稼働に向けて手を尽くす所存です。
- ⑨収支については、前半期における高い利用（稼働）率があり、後半期の減収分をカバーする結果となり、おおむね当初予算に近い収支結果となりました。

2. 法人運営に関する事項

(1) 役員に関する事項

①平成25年3月27日現在の第12期役員及び第5期評議員体制は次の通りとなっています。

(平成25年3月27日現在)

理事長	櫻庭 榮	兼評議員	
理事	鈴木 眞吾	〃	(第一職務代理者)
理事	馬場 浩一	〃	(第二職務代理者)
理事	木村 好伸	〃	
理事	永山 衛	〃	
理事	鈴木 正江	〃	
理事	高杉 綾子	〃	
理事	石田 信雄	〃	(常務理事兼法人本部事務局長)
理事	遠藤 孝憲	〃	(日の出学園施設長)
理事	佐藤 寿記	〃	(やすらぎの苑施設長)
評議員	秋保 勝巳		評議員 門馬 恵彦
評議員	橋本 敏雄		評議員 橋本 幸輝
評議員	新沼 博		評議員 小島 扶佐子
評議員	古関 稔		評議員 小沼 清純
評議員	藤井 愛子		評議員 佐々木 政雄
評議員	林 勉		
監事	椿原 稔		監事 寺口 繁男

(2) 理事会

本年度における理事会は、第177回から第189回まで13回開催し、理事の出席率は、平均で93.8%でした。

1) 平成24年5月25日(木) 第177回理事会(出席理事9名)

報告1 諸報告

- 2 平成23年度第4・四半期末(1~3月)の経理状況について
- 3 平成23年度第4・四半期監査結果について
- 4 日の出学園配管等更新工事等に係る工事実施計画について

議案1 平成23年度斜里福祉会事業報告について (別冊)

- 2 平成23年度一般会計(連結)収支決算の承認について (別冊)

(1) 法人本部収支決算

(2) 障害福祉事業会計収支決算

(入所支援、ワケケ、一体型共同生活介護等経理区分)

(3) 高齢者福祉事業会計収支決算(施設、短期、ケアハウス経理区分)

- 3 平成23年度斜里福祉会財産目録の承認について (別冊)

- 4 平成23年度斜里福祉会決算監査報告について (別冊)

- 5 指定障害福祉サービス事業所多機能型ワケケ青葉重営規程の

一部改正について

- 6 平成24年度日の出学園会計(支援施設経理区分)施設整備

等積立金の取り崩しについて

7 平成 24 年度日の出学園会計（支援施設経理区分）第 1 次収支
補正予算について

2) 平成24年7月10日（火） 第178回理事会（出席理事9名）

報告1 諸報告

議案1 社会福祉法人斜里福祉会職員給与規程の一部改正について

2 準職員・臨時職員・パート職員就業規程の一部改正について

3 平成 24 年度日の出学園会計（共同住居事業所ブーク経理区分）
第2次収支補正予算について

4 日の出学園日中活動棟改修工事に係る入札について

協議1 特別養護老人ホームの定員増に係る検討について

3) 平成24年8月17日（金） 第179回理事会（出席理事9名）

報告 1 日の出学園日中活動棟改修工事に係る契約締結について

協議1 特養の定員増に関する事前確認書の回答結果及び方針の検討
について

4) 平成24年8月24日（金） 第180回理事会（出席理事9名）

協議1 特養の定員増に対する取り組みの検討について

5) 平成24年9月14日（金） 第181回理事会（出席理事9名）

報告1 斜里町に対する特養の定員増に係る取り組み通知について

協議1 特養の定員増に係る当面の取り組みについて

6) 平成24年9月28日（金） 第182回理事会（出席理事10名）

報告1 諸報告

2 平成 24 年度 6 月末の各会計経理状況について

3 平成 24 年度第 1 ・四半期（ 4 月～ 6 月）監査結果について

議案1 特別養護老人ホームの定員増に関する事業の実施について

議案2 共同住居事業所ブーク運営規程の一部改正について

7) 平成24年11月19日（月） 第183回理事会（出席理事10名）

報告1 諸報告

2 平成 24 年度 9 月末の各会計経理状況について

3 平成 24 年度第 2 ・四半期（ 7 月～ 9 月）監査結果について

4 特別養護老人ホームの定員増に関する基本合意書の締結について

協議1 やすらぎの苑の職員欠員に係る利用者受け入れ対応について

2 特別養護老人ホーム整備に係る進捗状況について

8) 平成24年12月20日(木) 第184回理事会(出席理事10名)

報告1 諸報告

議案1 平成 24 年度法人本部会計第 1 次収支補正予算について

2 平成 24 年度日の出学園会計(支援施設経理区分)第 3 次収支補正予算について

3 平成 24 年度やすらぎの苑会計(入所、短期、ケア経理区分)第 1 次収支補正予算について

協議1 地域密着型特別養護老人ホームの整備等に係る基本設計・実施設計仕様について

2 地域密着型特別養護老人ホームの整備に係る当面の取り組みについて

3 給食調理業務委託の契約更新について

4 平成 25 年度の職員採用計画について

9) 平成25年1月21日(月) 第185回理事会(出席理事9名)

報告1 諸報告

議案1 地域密着型特別養護老人ホーム等の整備に係る基本設計等の入札について

10) 平成25年1月31日(木) 第186回理事会(出席理事10名)

報告1 諸報告

議案1 地域密着型特別養護老人ホーム等調査設計業務委託事業に係る入札予定価格について

2 地域密着型特別養護老人ホーム等調査設計業務委託事業に係る契約締結の承認について

3 平成 24 年度やすらぎの苑会計(入所、短期、ケアハウス経理区分)第 2 次収支補正予算について

協議1 地域密着型特別養護老人ホーム等の名称募集について

11) 平成25年3月7日(木) 第187回理事会(出席理事9名)

報告1 諸報告

2 平成 24 年度 12 月末の各会計経理状況について

3 平成 24 年度第 3 ・四半期(10 ~ 12 月)監査結果について

4 やすらぎの苑の短期入所の運営状況について

議案1 決算手当の増額支給等に係る取扱いについて

2 準職員・臨時職員・パート職員就業規程の一部改正について

3 平成 24 年度法人本部会計第 2 次収支補正予算について

4 平成 24 年度日の出学園会計(支援施設・多機能型・ブーク経理区分)第 4 次収支補正予算について

5 平成 24 年度やすらぎの苑会計(入所、短期、ケアハウス経理区分)第 3 次収支補正予算について

- 協議1 平成 25 年度事業計画案及び予算案について (別冊)
- 2 地域密着型特別養護老人ホーム等の調査設計進捗状況について (別冊)
- 3 地域密着型特別養護老人ホーム等の名称応募状況について (別冊)
- その他1 役員の改選について

1 2) 平成25年3月27日 (水) 第188回理事会 (出席理事9名)

- 報告1 諸報告
 - 2 指導監査結果に係る改善措置について
- 議案1 社会福祉法人斜里福祉会就業規則の一部改正について
 - 2 平成 24 年度法人本部会計第 3 次収支補正予算について
 - 3 平成 24 年度日の出学園会計(支援施設経理区分)第 5 次収支補正予算について
 - 4 社会福祉法人斜里福祉会個人情報保護方針の制定について
 - 5 斜里福祉会評議員の選任について
 - 6 平成 25 年度法人本部会計事業計画及び収支予算について (別冊)
 - 7 平成 25 年度障害福祉事業計画及び収支予算(各経理区分)について
 - 8 平成 25 年度高齢者福祉事業計画及び収支予算(各経理区分)について(別冊)
- 協議1 地域密着型特別養護老人ホーム等の調査設計進捗状況について (別冊)
- その他1 役員の退任について

1 3) 平成25年3月28日 (木) 第189回理事会 (出席理事10名)

- 議案1 理事長の互選について
 - 2 理事長職務代理者の指名について
 - 3 常務理事の指名について

(3) 評議員会

理事会に先立ち、今年度は3回開催され、平成 年度事業報告・決算、特別養護老人ホームの定員増に関する事業の実施、平成25 年度事業計画・予算等を主な案件として審議した。なお、何れの会議も定足数を満たし、出席率については88.9%でした。

1) 平成23年5月25日 (金) 第27回評議員会 (出席評議員18名)

- 議案1 平成23年度斜里福祉会事業報告について
 - 2 平成23年度一般会計(連結)収支決算の承認について
 - (1) 法人本部収支決算
 - (2) 障害者支援施設日の出学園会計収支決算
(入所支援、ワケケ、一体型共同生活介護等経理区分)
 - (3) やすらぎの苑会計収支決算 (施設、短期、ケアハウス経理区分)
 - 3 平成23年度斜里福祉会財産目録の承認について
 - 4 平成23年度斜里福祉会決算監査報告について

2) 平成24年9月28日 (金) 第28回評議員会 (出席評議員20名)

- 協議1 特別養護老人ホームの定員増に係る協議経過等について
- 諮問1 特別養護老人ホームの定員増に関する事業の実施について

3) 平成25年3月27日(水) 第29回評議員会(出席評議員18名)

- 報告1 やすらぎの苑の老人短期入所事業の運営状況について
- 2 地域密着型特別養護老人ホーム等の調査設計の進捗状況について
- 議案1 平成25年度法人本部事業計画及び収支予算について
- 2 平成25年度障害者福祉事業計画及び収支予算について
- 3 平成25年度高齢者福祉事業計画及び収支予算について
- 4 平成25年度予算の補正に対する権限の理事会への委任について
- 5 斜里福祉会理事の選任について
- 6 斜里福祉会監事の選任について

(4) 監事監査

本年度中の監事による監査は、次の通り行われました。

- 平成24年 5月17日(木) (椿原・寺口監事) H23 年度第4・四半期、決算監査
- 平成24年 7月26日(木) (椿原・寺口監事) H24 年度第1・四半期監査
- 平成24年10月25日(木) (椿原・寺口監事) H24 年度第2・四半期監査
- 平成25年 1月31日(木) (椿原・寺口監事) H24 年度第3・四半期監査

※何れの監査においても、適正に処理されているとの報告を受けている。

(5) 登記事項

本年度中に行った登記事項は、次の通りです。

- ①資産総額の変更登記 3月31日現在資産総額変更 平成23年5月31日登記

(6) 諸規程の制定及び改正

本年度中に行った諸規程等の制定・改正及び施行状況は、次の通りです。

- ①指定障害福祉サービス事業所多機能型ワークセンター青葉
運営規程の一部改正 平成24年4月1日適用
- ②社会福祉法人斜里福祉会職員給与規程の一部改正 //
- ③準職員・臨時職員・パート職員就業規程の一部改正 //
- ④共同住居事業所ブーケ運営規程の一部改正 平成24年10月1日適用
- ⑤準職員・臨時職員・パート職員就業規程の一部改正 平成25年3月1日適用
- ⑥社会福祉法人斜里福祉会就業規則の一部改正 平成25年4月1日施行
- ⑦社会福祉法人斜里福祉会個人情報保護方針の制定 平成25年3月27日制定

(7) 業務委託契約の状況(本部関係)

1) 地域密着型特別養護老人ホーム等調査設計業務委託事業

- ①入札日時 平成25年1月31日 10:00 ~

- ②会 場 やすらぎの苑 多目的ホール
③予定価格 24,000,000 円 (消費税抜き) ※税込み 25,200,000 円
④入札状況 執行者：理事長、入札回数 1 回
⑤落札業者 北海道建築設計監理 (株)
⑥契約金額 11,340,000 円 (消費税込み)
⑦業務期間 平成 25 年 2 月 1 日～ 5 月 30 日まで

(8) 会計指導業務

○本年度行った会計指導業務については、次の通りです。

- ・委託先 (株) 吉岡経営センター
- ・指導実施日 定例指導：4回 5月決算期：1回 計5回 その他随時相談
- ・指導内容 伝票仕訳精査、勘定科目精査、財務諸表精査、決算準備指導
経営指導等

(9) 行政機関等への対応

本年度に行った行政機関等への対応は次の通りです。

1) 斜里町との協議

①特養の定員増への取り組みについて

- 期 日 5 月 28 日 16:00 ～ 法人本部事務室
- 協議内容 平成 26 年度からの特養定員増への取り組み要請を受ける
現やすらぎの苑の経営移行時の対応を基本とした支援を考えている
- 協議者 町：馬場町長、芝尾保健福祉課長
法人：常務理事、遠藤施設長
- 法人対応 人材確保が課題、現施設への増築は適当でない、小規模多機能型を視野に入れ検討したい。
- 結 論 法人としても結論を示す時期なので、法人の思いを別途示すことにする。
町長は、これを受け理事会に出席し回答予定とした。

②事前確認書の提出

- 期 日 7 月 31 日 15:00 ～ 役場応接室
- 協議事項 新特養を整備する場合に課題となる事項を「事前確認書」としてまとめて斜里町の考えを求めた。
- 協議者 町：馬場町長、阿部副町長、松岡民生部長、芝尾保健福祉課長
法人：桜庭理事長、石田常務理事、佐藤施設長
- 協議内容 事前確認書の内容等について説明し、大まかな議論・確認・意見交換等を行う。
- 結 論 内容を精査し 8 月 7 日までに行政が回答することにした。

③事前確認書への回答

- 期 日 平成 24 年 8 月 14 日 16:00 ～ 法人本部事務室
- 協議事項 「事前確認書」に対する斜里町からの回答
- 協議者 町：馬場町長、松岡民生部長、芝尾保健福祉課長
法人：桜庭理事長、石田常務理事、佐藤施設長
- 協議内容 行政から、内容説明を受けた。

最大の課題は介護士の確保が困難なことであることなど現状認識について意見交換が行われた。

○結 論 8 月末までの回答を要請されたのでこれに応えることにした。

④斜里町への取り組み方針回答

○期 日 平成 24 年 9 月 19 日

○協議内容 新特養の整備に取り組むとの方針について回答（文書回答）

○提出先 斜里町長宛文書で回答（保健福祉課ご持参提出）

○回答内容 8 月 24 日の理事会で一定の条件つきで特養定員増に取り組む方針となったことを文書で通知した。

⑤基本合意書の締結

○ 9 月 28 日開催の評議員会・理事会で特養定員増への取り組み方針が承認されたので基本合意書の締結事務を進めた。

○ 10 月 4 日 特養整備の取り組みを決定及び斜里町に基本合意書締結要請文を斜里町に提出

○ 10 月 10 日 10 月 10 日付の「基本合意書」を斜里町から受理

○ 10 月 17 日 斜里町と「特別養護老人ホームの定員増に関する基本合意書」を締結

2) 総合振興局への対応

①定例指導監査

○期 日 11 月 7 日 (水) 10:00 ~ 於:やすらぎの苑 多目的ホール

○監査対象 法人運営管理、会計基準、施設運営（特養・ケアハウス）

○調査担当 総合振興局:社会福祉課保険指導係（係長以下 4 名）

○監査対応 ア . 法人運営:常務理事、佐藤施設長、苑入事務員

イ . 施設運営:佐藤施設長、尾形課長、丹羽係長、中村係長、鈴木主任、沼倉主任、三浦事務員

○監査講評 法人運営では指摘がなかったが、施設運営について一部課題が見受けられたため後日資料提示等を求めた上で取扱いが検討されることになった。

※結論は、別記やすらぎの苑の報告で説明

3) 斜里町議会への視察対応

○来所日 10 月 18 日 於:やすらぎの苑

○対応者 町議会:産業厚生常任委員会委員長他、議会事務局長

斜里町:民生部長他

法 人:常務理事、佐藤施設長

○目 的 町内所管調査の一環として来所

(10) 役員の動向について

1) 研修会への出席

①法人役員研修会への出席

・開催時期 平成 25 年 1 月 25 日

- ・開催地 札幌市
- ・内容 社会福祉施設におけるサービスの質の向上、人材育成などについて考える。
- ・参加者 鈴木理事、高杉理事

(1 1) 主要な事業の取り組み

1) 経営理念等の施行・周知

- ①法人の進むべき方向性や信条を明確にした理念を文章化し、2013年 4 月 1 日から施行した。
- ②各職員が行動を起こす際の拠り所となるように啓蒙に努めた。
- ③具体的な取り組みとしては、経営理念の常設掲示及び新たに開始した法人のホームページへの掲載を実施しました。

2) 中期経営計画の策定

- ①今後の事業展開にあたり中期的な展望から策定を計画したが、具体的な策定にはいたらなかった。

3) 新たな人事管理と人事考課制度の試行

- ①要員管理・・・適正な管理で必要な要員及び人材確保に努めたが、特に特養関係では退職者が多く発生したこと、療養を要する職員が生じるなど計画的な管理には至らず、人員の確保に苦慮する状況であった。
- ②人事制度の確立・・・
 - ・職員の処遇などについて体系化、ルール化する点については定着が図られた。
- ③新たな賃金制度の実施・・・
 - ・人事管理の一環として、就業規則及び給与規程等の関連規程を整備し平成 4 月 1 日から施行したが、これらの制度化より国が求めているキャリアパスの環境整備に対応が可能となった。
- ④人事考課制度の試行・・・
 - ・人材育成のツールとしての活用に配慮した取り組みとした。
 - ・評価者の育成研修を5回実施し、評価者の習熟期間を設けた。
 - ・試行の実施については、取り組みへの遅れから年度後半からの取り組みとなった。

4) 資質向上・人材の確保

①人事考課制度の試行による人材育成

- ・試行の遅れにより、評価者の教育を主体とした期間となり人材育成までには至らなかった。

②教育訓練を重視した人材育成

- ・老施協、道社協等の関係機関が実施する外部委託研修に積極的に参加した。
- ・通常の業務の中で先輩・同僚等が指導する職場研修による人材育成に努めた。
- ・「笑顔で挨拶」を徹底することで会議等による周知徹底、ポスター掲示などに取り組みある程度の改善が図られたが職員全体に浸透するには至らなかった。

③広報活動の強化による人材確保

- ・法人広報紙への掲載、新聞折り込み等を実施したが所期の目的達成には至らなかった。

5) 広報紙の発行・情報発信

①法人広報紙の発行

- ・11月1日付で年1回の法人広報紙を発行した。

②電子媒体による情報公開

- ・広く当法人を認識して頂くため法人専用のホームページの作成に取り組み、平成25年4月4日付で公開となった。

③各事業所会報の定期発行

- ・発行体制が整わず定期発行には至らなかった。

6) 家族会・地域等との交流促進

①研修会の共同開催や介護サービス事業所連絡協議会の創設を通じて事業者間の連携を深めた。

②家族会とは、家族会活動、各種行事等を通じて情報提供や家族間の交流を促進した。

③地域自治会やボランティア団体の皆様から行事へのご協力を頂くなど、地域と密接につながった施設運営が図られた。

④施設が有する介護技術や支援技術等を、地域で暮らす方達に還元することについては、計画通りに取り組むことは出来ませんでした。

7) 特養の定員増に対する対応

①斜里町からの要請を真摯に受け止め、理事会等を開催し職員や各役員の意思確認を行いながら、結論を見出すための取り組みを精力的に行いました。

②結論としては、9月28日に開催の評議委員会、理事会において特養の定員増については、条件付きではありますが地域密着型特別養護老人ホームとして建設するとの結論に至りました。

③以上の結論を踏まえて、斜里町と平成24年10月10日付で「特別養護老人ホームの定員増に関する基本合意書」の締結に至りました。

④基本設計等に対する取り組み

- ・平成25年2月1日から、専門業者に委託し基本設計・実施設計・調査測量を実施中となっています。
- ・発注後は、行政の支援も得ながら委託業者と緊密な協議を重ね設計等に取り組んでいるところです。

8) 職員の健康管理

①健康診断に係る対策

- ・健康管理については、健康診断の結果に基づく医師の指導の範囲にとどまり、独自に健康講話を実施するなどの健康指導等には至りませんでした。

②施設内の禁煙について

- ・現状の継続の範囲にとどまり、改善には至りませんでした。

9) 組織・機構の見直し

- ・キャリアパスの実施に伴い、明確な組織・機構見直しを行い平成24年4月1日から実施しました。

10) 給与規程の見直し

・キャリアパスの整備に伴い、大幅な関係規程の改正を実施し平成24年4月1日から実施しました。

1 1) 職員の処遇改善等

①定期昇給等の実施

・職員及び準職員に対し、4月1日付で定期昇給の引き上げを実施しました。

②福祉・介護職員等の処遇改善制度の活用

・福祉及び介護職場の賃金格差の縮小、介護職場を確固とした雇用の場とするための報酬規定上の加算制度を活用し、平成24年度においても支援員・介護職員に対し月額0,000円を「給与改善手当」として支給を継続した。同時に職員間の均衡を図るため自主財源により看護職等の他の職種にも同額を支給した。

③定年後の退職者の取扱い

・職員の60歳定年後について、現行制度では条件つきで継続雇用が可能としているが、高年齢者雇用安定法の改正施行に伴い、平成5年4月から継続雇用が義務化されたので就業規則を当該改正に対応するものに改正した。

1 2) 新会計基準への対応

①新会計基準への対応は平成7年度から義務化されているが、当法人は平成5年度から前倒して実施する予定としたが、業務繁忙等で対応が困難となり取り組むには至らなかった。(※平成25年度準備期間、平成26年度から実施に変更とした。)

1 3) 消費税納税のための準備について

①就労継続支援B型事業の実施に伴い消費税納税義務が発生するため、2平成年度分の納税に向けて準備を進め、納税準備が完了した。
(平成25年5月末までに納税予定)

(1 2) 人事に関する事項 (正規職員のみ)

1) 職員の採用・退職関係

①採用	4月1日付	生活支援員	浅和奨太	(日の出学園)
	〃	〃	坂井斐花	(日の出学園)
	5月1日付	介護士	石川順子	(やすらぎの苑)
	〃	生活支援員	田中美砂子	(日の出学園)
	〃	〃	片山奈緒子	(〃)
	12月1日付	看護師	吉川里弥	(やすらぎの苑)
	1月1日付	看護師	菅原由美子	(〃)
	3月1日付	介護士	橋本富貴子	(〃)
②退職	6月30日付	介護士	鶴田文美恵	(やすらぎの苑)
	〃	支援員	太田円香	(日の出学園)
	10月10日付	介護士	白畑亭来	(やすらぎの苑)
	12月31日付	介護士	石崎絹江	(〃)
	〃	〃	大野倫里	(〃)

			生活支援員	浅利奨太	(日の出学園)
1	月	31	日付	看護師	遠藤栄美 (やすらぎの苑)
3	月	31	日付	施設長	遠藤孝憲 (日の出学園施設長・定年)
					4月1日～継続雇用
			介護士	平野順子	(やすらぎの苑・定年)
			生活支援員	石井明美	(日の出学園)

2) 異動発令関係 (主任職以上)

①日の出学園

4	月	1	日付	施設長	遠藤孝憲
				業務課長	山崎直樹 (入所支援課長兼務)
				地域支援課長	苔米地望
				入所支援係長	高橋知美
				看護主任	柏原明子
				支援主任	林克己 (環境班・高齢者班)
				〃	山田大作 (ひまわり班)
				〃	千葉礼子 (共同生活住居事業所)

②やすらぎの苑

4	月	1	日付	施設長	佐藤寿記
				生活支援課長	尾形康明 (管理課長兼務)
				相談支援係長	丹羽朱美 (栄養管理係長兼務)
				医務係長	斉藤青美 (機能訓練主任兼務)
				生活支援係長	中村和歌子
				看護主任	遠藤栄美
				生活支援主任	遠藤美幸 (しらかば・こぶしエッセ)
					(生活支援副主任兼務)
				〃	有吉千晶 (あじさいエッセ)
				〃	太田和利 (みずなら・さくらエッセ)
					(生活支援副主任兼務)
				〃	北野奈生 (りんどう・やまぶきエッセ)
					(生活支援副主任兼務)
				栄養管理主任	鈴木加奈子
				生活相談主任	沼倉良直
5	月	1	日付	生活支援主任	北野奈生 (すいせん・すずらんエッセ)
					(生活支援副主任兼務)
				〃	高橋真智子 (りんどう・やまぶきエッセ)
					(生活支援副主任兼務)

3) 臨時職員の採用退職関係 各施設から報告

4) 職員の状況 (平成 25 年 4 月 1 日現在) 【参考表】

①日の出学園関係

職員区分	事務職	支援員	看護師	その他	計	予算措置	比較
正職員	5	18	2		25	25	
臨時職員	1	9	1	3	14	18	△4
小計	6	27	3	3	39	43	△4
パート職員		1			1	1	
計	6	28	3	3	40	44	△4

②やすらぎの苑関係

職員区分	事務職	介護士	看護師	その他	計	予算措置	比較
正職員	6	25	4		35	40	△5
臨時職員	1	9	2	1	13	16	△3
小計	7	34	6	1	48	56	△8
パート職員		9			9	11	△2
計	7	43	6	1	57	67	△10

(13) 会計に関する事項

①本部会計に関すること

別紙決算財務諸表のとおり